

# 庚申待

**日時:令和2年2月20日(木)**

**午後1時30分～午後3時30分ごろ**

**場所:佐治歴史民俗資料館 民話の館**

主催:さじ民話会 共催:教育委員会事務局 佐治町分室  
後援:青少年育成佐治町地区協議会

冬の一時、民俗行事「庚申待ち」でゆっくりお楽しみください。「ぼたもち」などを準備して、多くのみなさまのお越しをお待ちしています。

## 庚申待とは

60日に一度めぐってくる庚申(かのえさる)の日の夕方、個人の家ごとに、又は、庚申講の仲間の家に集まり、神棚の下に神式では猿田彦の神、仏式では青面金剛童子のお掛絵をかけ、桶の上に三合徳利などに入れた7種類の花を飾り、ご飯を炊いて7種の食材で料理を作って供え、灯明をつけて祭り、徹夜で語り合い、酒食を共にする民俗行事。庚申の日の夜には三尸虫さんしちゅうが体を抜け出して天にのぼり、天帝にその人の罪科を報告し、それによって天帝は病気を与えたり、寿命を縮めたりするといわれ、三尸の昇天を阻むためにこの夜は夜を徹して語り合い、酒食の宴を催して夜明けを待ち、厄を逃れようという民間信仰を庚申待という。本来は夜に行う行事です。



お問い合わせ  
教育委員会事務局  
佐治町分室

佐治町加瀬木 2519-3  
☎88-0218

# 民俗行事「<sup>こうしんまち</sup>庚申待」

- 1 日 時 令和2年2月20日(木)  
午後1時30分～午後3時30分ごろ
- 2 場 所 佐治歴史民俗資料館 民話の館（茅葺き屋根の古民家）  
（鳥取市佐治町福園）
- 3 日程・内容 13:00～ 受付開始  
13:30～ 開会行事  
開会あいさつ・庚申待の説明・ 諸連絡  
13:45～ 佐治谷話の語り（佐治小学校 5年生）  
14:15～ 休憩「ぼたもち」などの接待  
14:40～ 佐治谷話の語り（さじ民話会会員・その他）  
15:30～ 閉会あいさつ

## 【佐治谷ばなしとさじ民話会】

佐治谷ばなしは口承文芸（民話＝伝説・昔話）の中の昔話（笑い話・本格昔話・動物昔話）の仲間であり、短い笑い話です。

伝説がある特定の人物、場所、時間に結び付けて話されるのに対し、昔話は虚構であり、空想力の所産であるとされています。したがって、特定の時間、場所、人物に結び付けられず、「昔々あるところにおじいさんとおばあさんが…」で始まり、「…げな（だそうだ）。」で終わる。

佐治谷ばなしは昔話の中の笑い話であり、「昔々…」で始まり、場所は「佐治谷のあるところ」、人物は「佐治谷のある人」になるのが特徴で、「そればうちり または とっちゃんぽん」と語り終わります。

佐治谷ばなしは真似損ない、早とちり、世間知らずによるしくじりを笑った笑い話が多く、近年まで、なんとなく恥ずかしく思い、隠したい気持ちになる人も多かったようです。

今は、昔の庶民が生活をともにした文化遺産であり、大切な家庭のしつけ、戒めをもったたとえ話であるとの認識が広まってきました。

さじ民話会は、求めに応じて民話の館のいろりを囲んで語り、周辺各地に出前をするなど、消えかけた方言とともに話を聞いてもらい、みなさんに楽しんでいただき、笑いの中から話の再認識、見直しに役立てようとしています。



キジとカラス



だんご



和尚にならえ



お伊勢まいり